



2026年 露地シャインマスカット・クイーンルージュ®病害虫防除暦

JA 中野市園芸課
JA 中野市ぶどう部会

散布日	散布時期	散布薬剤(水 100ℓ当り)	収穫前使用時期	使用回数	散布量(ℓ/10a)	対象病害虫(発生病害虫)	注意事項
/	4月上旬 粗皮はぎ後 (発芽前)	【特別散布】 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ トクチオン水和剤 125 g	発芽前 45日前	3回	300	アザミウマ類 コナカイガラムシ類	① 訪花昆虫保護のため早朝散布を徹底する。 ② クイーンルージュで晚腐病が多発した園は、ベンレート水和剤 200倍 (休眠期、1回) を加用する。
/	4月下旬 (発芽直前)	① 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ デランプロアブル 500 ℓ	休眠期	1回	300	黒とう病 晚腐病	① 注意! デランプロアブルは葉焼け等の薬害が発生するため、発芽前に散布を完了する。
/	5月初旬 カイガラムシ 特別対策	【樹幹塗布】 水 20 ℓ アルバリン顆粒水溶剤 20 g	幼果期まで	塗布 1回	1樹当たり 20-40 ℓ	コナカイガラムシ類 (クビアカスカシバ)	塗布方法 ① 水 : アルバリン = 1 : 1 で調合 ② 目安: 直径 10 cm 以上の樹 20 ℓ、直径 20 cm 以上 40 ℓ ③ 主幹分岐部下 30~50 cm 程度、粗皮削りし塗布する。 コウモリガ対策 ① ガットサイド S の 1.5 倍(幼虫喰入直前~喰入初期、2 回)を主幹部の地際から 30 cm の位置まで塗布する。
/	5月上旬 (発芽直後)	② 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ モスピラン顆粒水溶剤 50 g	14日前	3回	300	アザミウマ類 ツマグロアオカスミカメ カイガラムシ類	① 訪花昆虫保護のため早朝散布を徹底する。 モスピラン顆粒水溶剤に代えて、スミチオン水和剤 40 の 1,000 倍 (21日前、2回) を使用してもよい。
/	5月中旬 展葉 3 枚頃	③ 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ トレノックスプロアブル 100 ℓ ダイアジノン水和剤 34 100 g	60日前 30日前	2回 2回	300	黒とう病・ベと病・ 晚腐病・クワコナカイガラムシ若齢幼虫	
/	5月下旬 展葉 6 枚頃	④ 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ オーソサイド水和剤 80 125 g	30日前	3回	300	ベと病・灰色かび病 晚腐病・黒とう病	① 今回防除から 10 日間隔の散布を目安とする。 ② ツマグロアオカスミカメ・カイガラムシ類対策: コルト顆粒水和剤 3,000 倍(前日、3回)を加用する。
/	6月上旬 展葉 9 枚頃	⑤ 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ ドーシャスプロアブル 50 ℓ	60日前	3回	300	ベと病 晚腐病・黒とう病	
/	6月上旬 展葉 9 枚頃	展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ ストマイ液剤 20 100 ℓ	満開予定日 14日前~ 開花始期	1回	300	無種子化	① 注意! 有核巨峰には飛散しないようにする。 ② 敷布遅れのないようにする。
/	6月上旬 展葉 7~11 枚頃	展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ フラスター液剤 50 ℓ	新梢展開葉 7~11枚時 (開花始期まで)	2回	150	着粒増加 新梢伸長抑制	① 品種により倍率が異なるため、散布前に必ず登録内容 (ラベル等) を確認する。 シャインマスカット・クイーンルージュ®: 2,000 倍 ② 弱樹勢樹や若木等は新梢伸長が弱る可能性あるため、散布を控える。
/	6月中旬 開花直前	⑥ 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ ロブラー水和剤 66 g オーソサイド水和剤 80 125 g トクチオン水和剤 125 g	60日前 30日前 45日前	3回 3回 3回	400	ベと病・灰色かび病 晚腐病・褐斑病 黒とう病 アザミウマ類 コナカイガラムシ類	① 主幹害虫対策: 主幹・主枝等にも薬液が到達するようする。 ② アザミウマ類対策: 花穂 (軸部) に薬液が到達するようする。
/	前回から 10日後 (落花直後)	⑦ グレーシアプロアブル スイッチ顆粒水和剤 25 ℓ ジマンダイセン水和剤 33 g 100 g	7日前 30日前 45日前	2回 2回 2回	400	ベと病・晚腐病 灰色かび病 チャノキイロアザミウマ ブドウサビダニ (ミカンキイロアザミウマ) (コガネムシ類)	① 注意: ジマンダイセン水和剤・ゾーベックエニベル 顆粒水和剤等のマンゼブ成分を含む農薬は、年間の使用回数を 2 回までとする。 ② サビ防止対策: 花冠の飛び等を確認し散布する。 果粉脱落防止: 展着剤は今回から第 10 回まで使用しない。
/	満開 10日後	【強樹勢特別散布】 登録品種: シャインマスカット・ ピオーネ・ナガノパープルのみ フラスター液剤 200 ℓ	満開 10 日 ~20 日後、 但し 60 日前まで	2回	150	新梢伸長抑制	① 登録品種: シャインマスカット・ピオーネ・ナガノ パープルのみ (ナガノパープルは、収穫前日数 (60 日前) に注意する)。 ② 弱樹勢や若木等は新梢伸長が弱る恐れがあるため、 散布を控える。
/	前回から 10日後 (落花 10 日)	⑧ フェニックスプロアブル トランスマーフロアブル ジマンダイセン水和剤 25 ℓ 50 ℓ 100 g	14日前 3日前 45日前	2回 3回 2回	400	ベと病・晚腐病 黒とう病・褐斑病 スカシバ類 カイガラムシ類 アザミウマ類	① 注意: ジマンダイセン水和剤・ゾーベックエニベル 顆粒水和剤等のマンゼブ成分を含む農薬は、年間の使用回数 を 2 回までとする。 ② 代替: ジマンダイセン水和剤に代えて、ホライズンドラ イフロアブル 2,500 倍 (21日前、3回) を使用してもよい。
/	前回から 10日後 (落花 20 日)	⑨ レーバスプロアブル アミスター10 フロアブル ディアナ WDG 50 ℓ 100 ℓ 10 g	7日前 30日前 前日	3回 3回 2回	400	ベと病・灰色かび病 晚腐病・褐斑病・黒とう病 アザミウマ類 クビアカスカシバ	① 黒とう病発生園は病斑を切除後カナメフロアブル 4,000 倍 (前日、3回) を加用する。
/	前回から 10日後 (落花 30 日)	⑩ ライメイフロアブル オンリーワンフロアブル アディオンフロアブル 25 ℓ 50 ℓ 50 ℓ	14日前 前日 7日前	3回 3回 5回	400	ベと病・灰色かび病 晚腐病・褐斑病・黒とう病 チャノキイロアザミウマ コガネムシ類	① 袋かけ直前の散布とする。 ② クイーンルージュ®晚腐病・黒とう病強化対策: オ ンリーワンフロアブルに代えて、ミギワ 20 フロア ブル 2,000 倍 (前日、3回) を使用してもよい。
/	7月下旬 (袋かけ直後)	⑪ 展着剤 (アビオン-E) アルバリン顆粒水溶剤 50 ℓ 園芸ボルドー 50 g 200 g	前日	3回	400	さび病・(ベと病) チャノキイロアザミウマ ブドウトラカミキリ カメムシ類 コナカイガラムシ類	① ハダニ類 対策: コロマイト水和剤 2,000 倍 (7 日 前、2 回) を加用する。 ② クビアカスカシバ対策: パダン SG 水溶剤 1,500 倍 (14日前、2回) を加用する。 ③ 園芸ボルドーを使用する場合は、高温時や降雨後の散布で薬害 を生じる恐れがあるため、クレフノン 100 倍を加用する。
/	8月上旬 (前回から 10日後)	⑫ 展着剤 (アビオン-E) IC ボルドー-66D 50 ℓ テルスター水和剤 2.5 kg 100 g	— 14日前	— 1回	400	ベと病・(晚腐病) 黒とう病・さび病 チャノキイロアザミウマ	① コガネムシ類対策: テルスター水和剤に代えて、イカズ チ WDG の 1,500 倍 (21日前、5回) を使用する。ただし、 早生種は収穫前規制に注意する。
/	8月中旬 (前回から 10日後)	⑬ 展着剤 (アビオン-E) IC ボルドー-66D 50 ℓ 2.5 kg	—	—	400	ベと病・(晚腐病) 黒とう病・さび病	① IC ボルドー-66D 代替 ムッシュボルドー-DF の 500 倍又はクミガード SC の 1,000 倍又 は園芸ボルドーの 500 倍を使用してもよい。ただし、変更する 場合は、高温時や降雨後の散布で薬害を生じる恐れがあるため、 クレフノン 100 倍を加用する。
/	8月下旬 (前回から 10日後)	⑭ 展着剤 (アビオン-E) IC ボルドー-66D 50 ℓ 2.5 kg	—	—	400	ベと病・(晚腐病) 黒とう病・さび病	① IC ボルドー代替: 前項同様 ② 収穫中の園地に飛散しないように注意する。
/	9月上旬 (除袋直前)	【特別散布】 展着剤 (アビオン-E) IC ボルドー-66D 50 ℓ 2.5 kg	—	—	400	ベと病・(晚腐病) 黒とう病・さび病	② 収穫中の園地に飛散しないように注意する。

◆ 安全・安心の農産物生産のために使用基準を厳守しましょう。

当防除暦の複製・コピーを禁止します。

◆ 混用例: 展着剤 ⇒ 液剤 ⇒ 乳剤 ⇒ 顆粒水溶剤 ⇒ 水溶剤 ⇒ フロアブル ⇒ ドライフロアブル (DF) ⇒ 顆粒水和剤 (WDG) ⇒ 水和剤